



工藤篤子メールマガジン 168号 2011.01.10

●ミラノの実 ●Worship Ministries

遅ればせながら、新年明けましておめでとうございます！

年末年始を札幌の実家で過ごし、1月7日、3カ月ぶりにハンブルクの我が家に戻りました。ドイツは1000年に一度の寒さと聞いていたので、覚悟して帰って来たのですが、私が戻った日は、気温が6〜7度上昇、それまで積もっていた雪もほとんど溶けていました。

●ミラノの実

去る12月25日、東京の「シオンの群れ教会」にて2010年最後のコンサートを祝福のうちに終わることができました。皆さんのお祈りの支えに、心から感謝いたします！

この日、2005年にミラノで歌わせていただいたコンサートがきっかけで教会に集うようになり、救いに導かれた**K**さんとイタリア人の婚約者が来てくれました。

Kさんは、2年前にも九州から上京し、友人の**E**さんを誘って「相模原クリスマス」に来てくれました。**E**さんはその帰り、**H**先生の導きでイエス様を信じました。その**E**さんも、今度は彼女の未婚者の友人を誘って、コンサートに来てくれました。

コンサートで献身的な奉仕をしてくれた**A**さんは、3年前にミラノで救いに導かれた、当時、オペラの勉強をしていた姉妹です。**A**さんは、2年前にフィンランドで開催された「ヨーロッパ・キリスト者の集い」の賛美チームの一員として奉仕をする中、イエス様の深い愛にゆさぶられ、全き献身に導かれました。彼女は昨年秋に帰国し、現在、神学校で学んでいます。

ミラノは、私にとって特別の思い出があります。

2001年夏にリヨンで行われた「ヨーロッパ・キリスト者の集い」に参加した時のことです。そこで、ミラノの韓国人教会が日本人宣教を始めたことを知りました。なぜかそのことが心に留まり、ミラノのために祈るようになりました。



その年の秋、東京で「AKMM 関東支援者の集い」を開催しました。そこに、私が密かに「世界宣教仕掛け人」と呼んでいる I ご夫妻が、『U ご夫妻をミラノ派遣へ』という祈祷課題が書かれたチラシを持って来られました。ご夫妻がその話しをする前に、私の方から「ミラノで日本人宣教が始まっていますよ」と言ったので、おふたりは大変驚かれたそうです。その後、I ご夫妻の活発な祈りの呼びかけを通して多くの祈りが積みれ、2003 年、主はついに U ご夫妻をミラノに遣わしてくださいました。



I ご夫妻とミラノ宣教を支える G 牧師もコンサートに来てくださいました。そして実は、コンサートを主催された「シオンの群れ教会」こそ、U ご夫妻の大切な母教会なのです。

ミラノ宣教を支える教会にミラノ組が集まり、ミラノ宣教の実を見させていただいた、実に感謝なクリスマスとなりました。

●Worship Ministries

AKMM「工藤篤子音楽ミニストリーズ」は、2011 年 1 月 1 日より、AKWM「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」と改名いたしました。

10 年の区切りを迎えたミニストリーズは、これまでの恵みの時を感謝し、更に霊的な働きとなるべく、新しい始まりを迎えようとしています。

AKMMの目的は設立当初から、賛美を通して福音を宣べ伝えることでした。これからの働きも、設立時の目的に従順でありたいと願っています。そのために、AKMM 設立当初から、主に心からお従いし、主に喜ばれる働きをさせていただくべく、特にドイツ滞在時は、主との交わりとみことばの学びを心がけてきました。

そのような中で、2 年ほど前から、それまで伝道のためにと続けて来たセキユラー音楽活動から一線を画し、これからは、このくちびるを、主をほめたたえることのみを用いるべきではないかと思わされるようになりました。そして、主のみこころを祈り求める中で、「**私たちはすでに達しているところを基準として、進むべきです**」(ピリピ 3:14) から、これが、ここまで成長させていただいた今の私への召しであることを確信するようになりました。

-Worship Ministries- 新たなる献身の思いを主に捧げつつ、霊とまことをもって主を“礼拝賛美”し、福音を宣べ伝えて行きたいと思っています。まだまだ未熟者ではありますが、私がこれまで学んできたことを後に続く方々へお伝えしたく、賛美レッスン、セミナーなども活動に加えて行きたいと考えています。AKWM の新たなる歩みのために、どうぞお祈りお支えください。

2011 年が、皆様にとって、恵みと感謝に溢れる一年となりますように！

Atsuko Kudo

